

会 議 議 事 録

1 会議名	令和4年度長岡市食育推進会議
2 開催日時	令和5年2月10日（金） 午後1時30分から午後3時まで
3 開催場所	さいわいプラザ 4階 中央公民館大ホール
4 出席者名	猪貝委員、鴨居委員、北山委員、久保田委員、熊倉委員、園田委員、永井委員（代理出席）、難波委員、西本委員、野田委員、野村委員、福居委員、村山委員 （事務局） 近藤福祉保健部長、西山健康課長、樋口多世代健康づくり推進室長、小林係長、小林主査、倉内保健師、小林保健師、大平係長（市民協働課）、小川係長（農水産政策課）、田中主査（学務課）、鈴木主査兼指導主事（学校教育課）、横山係長（子ども・子育て課）、金子主任（保育課）、石原会計年度任用職員、荒木会計年度任用職員
5 欠席者名	石黒委員、佐藤委員
6 議題	（1）令和4年度食育推進事業の実施状況について （2）第3次長岡市食育推進計画評価アンケート結果について （3）第3次長岡市食育推進計画調査結果分析報告について （4）第4次長岡市食育推進計画の方針案について
7 審議結果の概要	（1）令和4年度食育推進事業について進捗状況を報告し、事業について意見を伺ったもの （2）第3次長岡市食育推進計画評価アンケート結果及び結果の分析報告について意見を伺ったもの （3）第4次長岡市食育推進計画の策定方針について意見を伺ったもの

司会	ただいまから「令和4年度長岡市食育推進会議」を開催いたします。開会に先立ちまして、長岡市福祉保健部長よりご挨拶を申し上げます。
部長	(あいさつ)
司会	<p>それでは議事に入ります前に、長岡市食育推進会議について説明をさせていただきます。長岡市では、平成26年4月に長岡市食育基本条例を施行いたしました。この会議は、食育基本法に基づきまして、長岡市食育基本条例に設置した市長の諮問機関であります。長岡市食育計画食育推進計画の策定や、事業の実施等について検討していただくことになっております。委員の任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間となっております。</p> <p>それでは本日は、新しい委員による初めての会議になりますので、委員の皆様から出席名簿の順に自己紹介をお願いしたいと思います。本日名簿の一番の〇〇委員が欠席でございますので、名簿2番目の〇〇委員からお願いいたします。</p>
各委員	(自己紹介)
司会	<p>続きまして、次第3、会長及び副会長の選出についてです。会長、副会長の選出につきましては、会議規則第4条第2項により、委員の皆様から互選していただくこととなっております。皆様どなたか発言はございますか。〇〇委員お願いします。</p>
委員	会長は〇〇委員、副会長に〇〇委員がよろしいと思います。
司会	<p>会長は〇〇委員に、副会長は〇〇委員というご提案がありましたが、皆様いかがでしょうか。(拍手)</p> <p>拍手多数ということでただいま承認されました。それでは、新会長の〇〇委員、新副会長の〇〇委員はお席の移動をお願いいたします。</p> <p>それではここで、会長、副会長からそれぞれ一言ずつ、お願いしたいと思います。それでは、会長からお願いいたします。</p>
会長	(会長あいさつ)
副会長	(あいさつ)
司会	ありがとうございました。なお本日出席の委員は15名中13名であり、過半数の出席がありますので、会議規則第5条第2項により本会議が成立

	<p>していることをご報告させていただきます。また、本日の議事の内容については、長岡市情報公開条例により、発言者を特定しない形にして議事録等の公開を行うことになっておりますのでご承知おきください。それでは議事に入ります。ここからの進行につきましては、会議規則第5条第1項により、会長をお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。それでは、進めて参りたいと思います。</p> <p>次第4、議事の(1)、令和4年度食育推進事業の実施状況について、事務局より説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局説明)</p>
<p>会長</p>	<p>令和4年度食育推進事業の実施状況についてご意見がある方はいらっしゃいますか。では、無いようですので本日の議題(1)について、議事を終了いたします。</p> <p>次に、議題2、第3次長岡市食育推進計画評価アンケート調査結果について、事務局から説明をお願いいたします。なお、内容については、関連性があるために、議題(2)、(3)についてまとめてご説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 アドバイザー</p>	<p>(事務局・アドバイザー説明)</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、事務局からの説明の2番と、アドバイザーの先生のご説明の3番で、まとめて質問ご意見を伺います。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>コミュニティセンターの立場で少しお話をさせていただきたい。資料3、9ページの◎重点1の指標の下の段落に、「生活習慣病の予防や改善の取組として、コミュニティセンターにおける高齢者、男性への食育」があげられており、次のページに「意識と行動に乖離がみられることに注意する必要がある」とまとめられています。まったくその通りで、昨年度、長寿はつらつ課主催の5回シリーズの講座で、栄養や歯の健康等、多方面からの講習と運動がセットになっている講座で各回取り組んでいただきました。栄養面からのいろいろなアプローチがあって、さらにそれだけではダメで、運動も大切ですよということを学ばせていただきました。参加者は女性がほとんどだったのですが、とても関心が高くて、今年サークルが立ち上がり、そのメンバーの方たちが引き続き、同じ講師先生で継続できるというようなことができました。大変喜</p>

	<p>ばしい結果になったのですが、本年度、同じような講座を、男性限定で「男のはつらつ道場」5回シリーズで、同じように講義と運動を組み合わせてさせてもらったのですが、申し込みの時点で非常に関心が薄くて残念でした。男性へのアプローチがこれからもっと大切なというふうに感じました。食育と繋がっていて、こういう講座はコミュニティセンターにとっては大変ありがたいなと思っていますので、ぜひ今後も続けていただければと思います。</p>
アドバイザー	<p>ありがとうございます。今大変貴重なコメントいただきました。私は直接全部の活動を見ているわけではないので、今のコメントのように、取り組みをされている方々から、長岡市からの報告書と、この調査結果を照らし合わせて見て、こういうことなのかなというふうに解釈をして書いていますので、ぜひこの今のご発言のように、現場の方々から、この取り組みはこの結果に繋がったのかなとか、繋がらなかったのかなとか、そういうコメントをいただくと、実りよいものになるのかなと思いました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>他にいかがでしょうか。はい。〇〇委員お願いいたします。</p>
委員	<p>大変興味深くこの結果を見させていただきました。コロナの影響というのがあると思うのですが、外に出なくなって、家庭で過ごす時間が増えて、夕食を家で食べて、家族と一緒に食べる時間が増えたのではないかと想像するところです。</p> <p>食育に興味のある人が増えたというのはとても良いことで、ただそういった興味は出ているにも関わらず、朝食についてはうまくいっていない部分があったり、肥満が増えたりしていることを考えると、興味を持ったけれども、適切な情報にアクセスできていない、そんなふうな印象も受けますし、その可能性も否定はできない。興味はあったけれども、正しい情報を得られなかったので、結果として、肥満になるなどうまくいかない。その情報を市民の人々に届けるのが我々の役割ではないかと思われるところです。ですので、これからも、どう普及していくか、非常に課題だと思います。</p> <p>また、米飯が減っているということについて、私の患者さんで、「太りたくないの、白いご飯だけ夕ご飯に食べることをやめました」とか、「おかずだけ食べました」という人はとても多いです。だから、食形態が変わっているのか、白米を避ける傾向があるのか、もう少し、掘り下げて情報が欲しいと個人的に思いました。</p>

会長	<p>はい。ありがとうございました。他にいかがですか。</p> <p>はい。〇〇委員お願いします。</p>
委員	<p>今ほどのご発言にもありましたが、私も「1日の米飯の頻度が1日2食以上割合」が、10ポイント以上落ちていると、この内容については、もう少しよく分析といいますか、実態をしっかりと把握しないと、この数字はかなり大きな意味のある数字なのではないかと思います。</p> <p>ダイエットで米を食べないという人は確かにいるのかもしれませんが、それだけで10ポイント落ちるといえることはないと思います。郷土食は米飯を前提にした料理と思いますが、米飯が他の何かに置き換わってしまっているのか、そういった内容について、しっかりと把握しておかないとこの先を提言しても、うまくいかないと思いますので、ここを少し掘り下げていただきたいと思いました。</p>
委員	<p>気になるのは小学校のことです。朝ごはんを食べない人が少しずつ減ってきている状況だと思いますが、食育だけで解決するものではないと思います。個々の状況にもよりますが、メディア利用などの時間が子どもの生活に非常に大きく増えている、そこから生活リズムが乱れている傾向があります。高学年になればなるほどメディア利用の時間が増える、そんな状況があります。そのようなことが朝食の摂取に影響しているのではないかと考えています。</p> <p>ですから、そういった意味でも、食育だけで考えるのではなくて、子どもたちの生活全体のことから、朝食の摂取に影響があるということも理解した上で、食育の面でどのようにアプローチしていくのが課題になってくると思います。以上です。</p>
会長	<p>〇〇委員ありがとうございました。メディアの方で、時間を取られているから、生活リズムの乱れが、朝ごはんの結果が良くないということに繋がったのかもしれないということですね。ありがとうございました。</p> <p>他にいかがですか。では、次に議題4の方に移りたいと思います。第4次長岡市食育推進計画の方針案について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p>
会長	<p>議題4について説明がありました。ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>

委員	<p>コミセンでは、料理教室として和食をテーマに、この2年間やってきました。長岡しょう油赤飯、のっぺ等を作る回の際は大変好評で、栄養士会の栄養士さんに教えていただいたのですが、とても好評で人気が高いです。和食等の講師ができる方を、地域のコミュニティセンター等に斡旋していくことが、この地域での食育推進に繋がるのかなと思うのですが。そのように講師を紹介していただくだけでも、とてもコミセンとしてはありがたいなと思います。</p>
委員	<p>「地元の野菜、地場野菜のレシピ」とか検索かけると、たくさんあることが分かります。長岡市でもホームページを作っておりまして、確かに書かれています。関心がある方は見るのですが、そういうところに出くわさなかったら見ないし、ホームページを有効に使って欲しいと思います。動画でいくのはどうでしょうか。どういうとこにあげた方がよいのか。例えば今回の長岡ペイはいろんなところで上がりましたよね。市政だよりも書かれました。QRコードから飛んで、どうすればいいというのがすぐわかります。</p> <p>地域でも多くの食育活動を行っている団体がありますので、地域で活動している団体と連携し、インターネット等を有効に活用して、手軽に情報が入るような環境にしてもらえるとよいと思います。</p>
委員	<p>少し話がずれてしまうかもしれませんが、保育園で今年度、バケツの稲を栽培しました。バケツに稲の苗を植えて、子どもたちが成長を見て、最後、自分たちで稲刈りをして、乾燥して脱穀をして、最後、玄米でおにぎりをみんなで食べました。貴重な経験を今年1年かけてさせてもらいましたが、子どもたちもすごく食に対して、意欲的になりました。脱穀などはすごく時間がかかってとても大変だったのですが、先生たちと協力しながらやっている姿がありました。そういうところを大事にしていけたらいいかなと思っています。職員も食育の研修を受け、子どもたちにどのようにしていったらいいかというのは学んでいるところです。これからも継続してやっていきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>〇〇委員いかがですか。学生さんも教えていらっしゃるのですか。</p>
委員	<p>私、専門学校で講師として教えている立場です。今、2年生を教えています。人数は少ないのですが皆さん一生懸命です。食育とはちょっとずれるかもしれないですけども、やる気を持って今やっている状況です。ただ人数が少なく、欠席なざる、やめてしまうという人がいまし</p>

委員	<p>て、少し残念です。</p> <p>今回このような席に初めて出させていただいたので、他の皆さんのお考えや活動などいろいろとお聞きし勉強させていただき、それを生徒や、また職場に戻りまして指導等に活かしていきたいと考えています。</p> <p>私どもも、実は食農教育という取り組みを継続的に行っており、例えば、小学校に営農指導員が出向いて、先ほどバケツ稲という話もありましたが、以前からかなりの数の市内小学校に出向いております。</p> <p>さらに直売所を利用して、実際にはその隣の畑でさつま芋やじゃが芋を掘るなどして、教育っていう部分で子どもにはあまり理屈をどうこうより、体験させるということが良いことだと思います。そのような活動の中、実は体験して喜ぶのはその親なのです。親が一番分かっていないのではないか、そんな気も毎年していました。</p> <p>私が今60歳ですが、さっき米を食べなくなったという話をされていましたが、当然時代もあるのでしょうけど、私らの時代はお腹が減れば米を食べてきたのですね。お米しかなかった。親が作っている野菜しかなかった。今本当に何でも溢れていますので、本当に無理やりそういう世界に引き込むには、余程のきっかけとか、動機づけをしないといけない、なかなかうまく食育はいかないのではないかという気がしました。</p> <p>もう一つ、長岡市であるバイオエコノミーコンソーシアムっていうのを立ち上げて、具体的には、今本当に田んぼの土がもう弱って、米自体が採れなくなってきて、化学肥料を幾らぶち込んでも、気候にもう勝てないという、そういう環境の中で、土自体もエネルギーを上げていこうという取り組みを、技大の先生とか有名な研究者の皆さんも長岡入ってきてやっているのですね。そんな中で、農産物生産というのは、化学なのですという、いわゆる食料づくりという単純なその考えではなくて、その化学に基づく、理屈に基づく食物生産。そんな切り口で、情報を別の観点で流してやると、もっと興味を持つ人っているのではないかなというふうには考えました。これはあまり小さい子どもにどうこう言ってもどうしようもないのでしょうけど、いわゆる親の世代ですよね。と思っていました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。〇〇委員いかがですか。何かお話ありますか。</p>
委員	<p>分析（報告書）の19ページにあるような、インターネットの普及を踏まえたデジタル媒体等の取組をやっていけないでしょうね。これから絶対必要な部分だと思っています。先ほどのアンケートはイン</p>

<p>」</p> <p>会長</p>	<p>ターネットでの回答もありましたけれども、良いことだと思います。今「食育サイト」と検索すると、小学校授業の媒体や、「食育の媒体」で調べると、各企業が出しているものが出てきて、面白いなど、私も時々見ることがあります。いろんなところを見ると、勉強になるのかなと思いました。</p> <p>それから、朝食欠食、米飯の話になるのですが、データだけでは、そこまで落ちていると言えるのかどうかと、先生もお考えになったかもしれないのですが、平成29年と令和4年の5年間といえども少子化が進んでいます。園児と小中学生では割合が（大きく）減ってないということは、その家には米飯を作っている親がいる。減っているのは、子どものいないところ、一人暮らしや家族がいなくなったからもういいよねという感じではないか。コロナがあり、皆さんかなり疲れている影響もあると思います。</p> <p>対象者の世帯構成がどうなっているのかによって変わってくるので、この中の、子どもがいる家庭といない家庭で、どのくらい違うのかというのを見ると良いのかもしれない。子どもがいる家庭が変わっていない、子どもに食べさせるために作っているというのは、良い評価になると思う。</p> <p>それから、毎回出るのが「男性をどうするか」という話です。食育推進計画の基本方針には、記載されているのかもしれませんが、アンケートで、成人の役割をどのように捉えるかによって分析の仕方が違うと思うのですよね。</p> <p>大人がもっと勉強して子どもに食育を教えようということなのか、大人にも食育をするのか、捉え方によって随分違って来る。先ほど〇〇委員がおっしゃったように、食育として、大人の男性に教育というのはいかなり抵抗があるのではないかと思います。</p> <p>子どもと一緒に大人も楽しむというのはすごく良いと思いますが、その大人に教育するというと、違う話になってくるので、次の計画の中では、成人の役割や違うアプローチの仕方も考えていただけたらどうかと思います。</p> <p>私も調理師免許を持っているのですが、男性も料理が得意なのです。工作しながら作る、楽しい、面白い、火を使うのも楽しい。そういう素質を持っていると、外で働いて家でも働くとなると疲れるということもあるので、男性に対しても、工夫が必要なのかなと思います。</p> <p>ありがとうございました。では、最後にアドバイザーの先生より、全体を通したご助言の方お願いいたします。</p>
--------------------	--

